

2020年度

**KYFA 堺整形外科杯2020
第35回九州クラブユース(U-15)サッカー選手権大会**

代表者配布資料

九州クラブユースサッカー連盟

競技上の注意事項

＜一般的注意事項＞

1. ユニフォームについて

- 1) 試合開始 60 分前に当該ピッチ本部または本部テントにて、審判員立会いのもと決定する。
チーム代表者は正・副のユニフォーム一式 (GK はフィールドプレーヤーと色彩の異なる正・副 2 セット) を会場に持参すること。
- 2) 対戦するチーム同士のユニフォームの色が類似している場合は、シャツ、ショーツおよびストッキングのそれぞれについて、判別しやすい組合せを審判員の判断によって決定する。
- 3) 連盟より特別に許可された試合については、審判員が黒以外の色のウェアを着用する場合もある。
- 4) ユニフォームには選手番号がシャツ背面および前面に付けられていること。ショーツの番号については、付いていることが望ましい。
- 5) 試合に登録された選手のユニフォームが試合時にない場合には、違う番号での試合出場はできない。ユニフォームが届くまでその選手を欠いたままにするか、交代枠 1 を使って控え選手が出場するかの選択となる。
- 6) 競技者の危険となるような用具やピアス等の物を身につけてはならない。また、ミサング等は取り外すこと。
- 7) ストッキングのライン数等も統一すること。また、ストッキング (ソックス) の上にテープやバンテージを巻く場合、そのテープ等の色はストッキング (ソックス) の主たる色と同色とする。
- 8) 黒色等の上衣ユニフォームの使用は認めない。
- 9) 同じユニフォームであれば、長袖と半袖の混合着用を認める。

2. 選手の交代について

- 1) 交代要員として登録された 19 名の中から 7 名までの交代が認められる。
- 2) 交代選手は交代用紙を持って第 4 の審判員に交代を申し出、服装ならびに用具のチェックを受けること。
- 3) 交代用紙は九州クラブユース連盟ホームページよりダウンロードし、必要事項 (特に、交代回数、選手名、監督名の姓名等) を記入のこと。尚、記入漏れなどは書き直しを求めることがある。
- 4) 各試合の登録後、試合開始までの時間に、ケガなど特別な理由により登録された選手が当該試合へ出場することが不可能であると、当該試合競技責任者が判断した場合のみ、下記概要の通りエントリー内容を変更することができる。
 - (ア) 先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更できる。ただし、当該先発予定選手を控え選手に変更することはできない。
 - (イ) 当該選手の、当該試合への出場は認められない。

3. ベンチ内での態度

- 1) 試合中、その都度ただ一人の役員のみがテクニカルエリアに出て競技者に戦術的指示を伝えることができる。着席しているスタッフからの戦術的指示は出来ない。
- 2) ベンチに入っている者のメガホン及び鳴り物の使用は許されない。
- 3) 当日メンバー表に登録したスタッフ・選手が試合開始後、ベンチを離れ、観客席等に移動した場合は、当該試合終了までベンチに戻る事はできない。(ハーフタイム時も同様)

4. 競技中負傷した選手の処置と復帰

- 1) 選手がフィールド内で治療を受けることは許されない。ただし、ゴールキーパーの負傷、ゴールキーパーとフィールドプレーヤーが衝突し即座に治療が必要なとき、同じチームの競技者が衝突し即座に治療が必要なとき、更に重症と判断されたときは除く。
- 2) 主審がチームスタッフ 2 名の入場を許可した場合、負傷の程度を見ることと負傷者の搬出を手配することのための入場となる。負傷した選手は、担架あるいは自分でフィールドから離れなければならない。
- 3) 大きなドクターバックはフィールド内に持ち込みができない。
- 4) 負傷してフィールドから離れた選手は、試合が再開された後にのみフィールドに復帰できる。
- 5) 主審のみが負傷した選手のフィールドへの復帰を認めることができる。

5. 雷・荒天等不可抗力による中断・中止について

- 1) 試合前及び試合中に、落雷の発生並びに発生の可能性がある場合は、当該試合の審判員の判断により即座に試合を中断する。但し、これについて大会本部（競技責任者他）が助言できるものとする。
- 2) その後、雷活動（雷鳴、雷光）が収まった場合は 20～30 分後を目安に再開する。
- 3) 再開または中止する場合は、次の通りとする。
 - ・前半戦途中で中断した場合は、中断時の状態（選手は中断時の選手）から残り時間を再開する。
 - ・前半が終了している場合および後半戦途中で中断した場合は、試合再開を行わず中断時の結果により勝敗を決する。
 - ・再開後、会場使用予定時刻を超える恐れがある場合は、予備日または翌週・翌日に再開する。その場合、次の試合も順に行う。

6. その他

- 1) ピッチでの飲水ボトルはタッチラインおよびゴールラインから 1m 以上離れた所に置くこと。（芝保護の観点から水以外は厳禁）。
- 2) アンダーシューズおよびタイツは、シューズの主たる色、または、シューズの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。
- 3) ストッキングの上にテープやバンテージ、アンクルサポーター等を着用する場合、そのテープ等の色はストッキングと同色または透明に限る。
- 4) **新型コロナウイルス感染症の予防策のため、会場の自チームのベンチ等を持ち込むことを認める。選手、指導者はなるべく距離を空け、マスク着用を心がけること。**
- 5) **代表者は新型コロナウイルス感染予防ガイドライン（別紙）に目を通しておくこと。また、健康チェックシート（別紙）にて選手の健康状態の確認を行う。選手の健康チェックシートについては、マッチコーディネーションミーティングにおいて必ず提出のこと。**
なお、チーム役員については、問診票（別紙）を必ず提出のこと。
- 6) **フレンドリーマッチを希望するチームは事前に事務局へメールにて申し込みを行うこと。**
- 7) **注意事項を遵守しサッカーの品位を高めるよう努力を図ること。**

＜競技運営上の注意事項＞

1. メンバー用紙

- 1) メンバー用紙は、大会エントリー表をコピーし、試合開始 60 分前のマッチコーディネーションミーティングに持参し本部（当該ピッチ）の競技責任者に提出のこと。
- 2) メンバー用紙は 1 枚を自チームの控えとし、3 枚（本部、審判、対戦チーム）を提出のこと。
- 3) 記入は先発選手に○印をつける。尚、ポジションに変更がある場合は訂正のこと。

2. 選手確認

競技者の選手証の確認は、試合 60 分前のミーティング終了から試合開始 15 分前までに競技責任者によって会場本部前にて行う。その際は選手証または選手証一覧を持参して本部又はピッチ本部前に整列すること。

3. ベンチ（選手席）

- 1) ベンチテントの使用については、原則試合開始の 10 分前からとし、それ以前は試合に支障をきたさない場所で待機する。ただし 10 分前であっても前の試合が行われている時は、試合が終わるまで待機すること。
- 2) 使用場所はプログラムの左側に記載されているチームが本部からピッチに向かって左側のテントを使用する。
- 3) 試合終了後は運営役員の指示に従い、速やかにベンチテントから退出すること。
- 4) 登録選手がビデオ撮影を行う場合はベンチ脇とし、ベンチ外での撮影は登録外の選手または観客が行うこと（登録選手がベンチ外でのビデオ撮影を行うことは認められない）。ただしベンチ外の場合、観客席側とする。

4. 試合前／中のウォーミングアップ

- 1) ウォーミングアップは、競技責任者に指定されたスペースにて行うこと。
- 2) ピッチ内でのボールを使ったアップ
 - ①キックオフ直前（スタメンのみ）
 - ②ハーフタイムは自チームのアップとして使用できる。（人工芝会場のみ）
次の試合チームのハーフタイムでのピッチ内でのアップはできない。
- 3) インプレー中の交代要員のウォーミングアップはボールを使わず、ベンチ脇の競技責任者の指定した場所のみで認める。
ただし、芝を傷めるようなウォーミングアップは行わないこと。

5. 試合前／試合終了後の握手について

試合前／試合後にお互いの健闘を称えあうことを目的に、選手同士および審判団との握手は、新型コロナウイルス感染症予防のため、行わない。
※ピッチ内の肘タッチで「挨拶は終了」とし、試合後の相手チームベンチへの挨拶は行わない。

6. 試合後のクーリングダウン

- 1) クーリングダウンは競技責任者の指定した場所で行う。
- 2) 試合を控えているチームのウォーミングアップを妨げないこと。
- 3) クーリングダウン時に控え選手や登録外選手のトレーニングは認めない。

7. ペナルティーマークからのキックについて

- 1) ペナルティーマークからのキックにより次回戦への進出を決定する場合には、主審の指示により1分以内であればスタッフ1人の入場を認める。その際、飲み物、薬品、衣類などの持ち込みは認めない。なお、ベンチ前のフィールド内で飲水することができる。
- 2) ペナルティーマークからキックを行う人数は、選手数の少ない方に合わせる。
- 3) インターバルは3分とする。

8. その他

- 1) 開閉会式について
 - ①開会式は行わない。
 - ②最終日、最終試合終了後に、該当チームによる表彰式を行う。
- 2) アディショナルタイム表示について
各試合ともアディショナルタイム表示を行う。
- 3) 試合球の配置について
試合球モルテン社製「ヴァンタッジオ4950」とする。(1会場最低2球)。
- 4) 退場等の処分について
退場等(退席)処分になった選手、スタッフはベンチに内にとどまることはできない。直ちに競技責任者(運営役員)の指定する場所へ移動すること。
出場停止選手、スタッフについては試合当日にベンチ、ロッカー及びピッチレベルに近くづくことはできない。
- 5) 荒天時の対応について
当日6:00の時点で荒天(雨・雪等)の場合、7:00に中止もしくは延期を決定し、ホームページ上の試合結果速報へアップをする。当日現地判断で中止の場合もあり得る。
- 6) ゴミなどについて
 - ①ゴミは各チーム、責任を持って持ち帰ること。特に、保護者へ周知徹底を行うこと。
 - ②喫煙は指定の場所で行うこと。
- 7) 大会参加費について
荒天等により大会が中止になった場合、原則として大会参加費は返金しないものとする。

<警告・退場及び差別について>

1. 警告・退場

- 1) 今大会において退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会の規律・フェアプレー委員会(大会規律・フェアプレー委員長、競技委員長、競技副委員長、会場責任者)で決定する。当該競技者ならびに監督は、試合終了後に行われる規律・フェアプレー委員会で事情聴取を受ける可能性があるため、大会本部近くに待機すること。
- 2) 今大会において、警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。
- 3) 県予選に発生した退場については引き継ぐものとする。

2. 差別について

人種、肌の色、性別、宗教、又は出自等に関する差別的あるいは侮辱的発言又は行為により、個人あるいは団体の尊厳を害した場合は懲罰を科す場合がある。